博物館、名所と旧跡

Museu de Cerâmica de Sacavém

住所： - Urbanização Real Forte, Rua Álvaro Pedro Gomes (piso 1) - 2685-137 Sacavém- Pr. Manuel Joaquim Afonso (piso 0) - 2685-145 Sacavém
电话： +351 211 150 536 - 211 151 083/4
Eメール: dcmuseus@cm-loures.pt ; seceramica@cm-loures.pt
ウェブサイト： https://www.cm-loures.pt/Ligacao.aspx?DisplayId=109&CursorId=527

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

サカヴェン陶磁器博物館（Museu de Cerâmica de Sacavém） サカヴェン工場は、1856年にマヌエル・ジョアキン・アフォンソが設立し、ジョン・スコット・ハワース、ジェームズ・ギルマン、クライヴ・ギルバートが引き継ぎました。ファイアンス焼きの製造で有名になり、当初よりヨーロッパで最高の陶磁器工場のひとつに数えられていました。 この工場が評判となった理由のひとつは、長石を使ったファイアンス焼きの食器類の大量生産をポルトガルで初めて手がけた工場がここであり、アズレージョや便器やモザイクの大量生産を最初に始めた工場でもあったことです。

このように数々の成功をおさめ、革新性を持ちあわせていたにもかかわらず、この工場は時代の変化に適応することができず、1979年に倒産しました。それから10年の時を経て、かつての工場の記憶を後世に残していくために、2000年に陶磁器博物館がオープンしました。この博物館は18番の窯を中心につくられています。窯は円形をしており、美しさに定評があったサカヴェン工場のさまざまな製品が通っていった取り出し口が10ヶ所についています。その他のスペースは、すべてこの窯を中心にアレンジされており、5,000点を超える磁器と約100点のアズレージョが展示されています。 複数の展示室と、テージョ川（Rio Tejo）を見渡せる素晴らしいテラスがあるほか、作業所では以前サカヴェン陶磁器工場で働いていた作業員が再現する昔の製造工程を見学することもできます。

サカヴェン陶磁器博物館は、英国のヨーロッパ博物館フォーラムから、産業遺産部門の最優秀賞を授与されています。

アルガルヴェ

Faro

Museu Regional do Algarve

住所： Praça da Liberdade, 2 8000-164 Faro
电话： +351 289 870 893 ファックス： +351 289 870 038
Eメール: dmar.dc@cm-faro.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; レストラン;

Villa Romana de Milreu

住所： Centro Interpretativo das Ruínas de MilreuCoiro da Burra, Estoi8000-443 Faro
电话： +351 289 997 823 ファックス： +351 289 997 823
Eメール: milreu@cultalg.pt ウェブサイト： http://www.cultalg.pt

その他の情報:
ガイドツアー（要予約）があります。
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; レストラン;

ミルレウ（Milreu）の遺跡 紀元1世紀または2世紀のローマ時代につくられたミルレウのヴィラ（住居）は、4世紀に改築され、6、7世紀ごろまで使用されていました。現在は国の史跡に指定されています。今でも1世紀

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com

に建造され2世紀および4世紀に改築された大邸宅や農業用施設、浴場、そして神殿の構造を見ることができます。

Sagres

Fortaleza de Sagres
住所： Rua da Fortaleza8650-360 Sagres
电话： +351 282 620 140 ファックス： +351 282 620 141
Eメール: fortaleza.sagres@cultalg.pt ウェブサイト： http://www.cultalg.pt

その他の情報:
ガイドツアー（要予約）があります。
特色とサービス:
ガイドツアー; レストラン; ショップ; カフェテリア;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備;
支払い:
クレジットカード利用可;

アレンテージョ

Elvas

Fábrica-Museu da Ameixa de Elvas
住所： Rua Martim Mendes, 17-A 7350-159 Elvas
电话： +351 268 628 364
Eメール: serenofonseca@gmail.com ウェブサイト： http://www.ameixas-elvas.com

特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; レストラン;
支払い:
クレジットカード利用可;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;
建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリーのエリア／サービス: 店舗;

Évora

Universidade de Évora
住所： Largo dos Colegiais, nº 2 7000 Évora
电话： +351 266 740 800 ファックス： +351 266 740 806
Eメール: uevora@uevora.pt ウェブサイト： http://www.uevora.pt

特色とサービス:
レストラン; ショップ; カフェテリア;

Ponte de Sor

Fundação António Prates
住所： Avª. da Liberdade, 64-F - Apartado 105 7400-999 Ponte de Sôr
电话： +351 242 291 040 ファックス： +351 242 091 046
Eメール: fundacaoprates@mail.telepac.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
特色とサービス:
カフェテリア; レストラン;

Vidigueira

Villa Romana de São Cucufate
住所： São Cucufate - Vila de Frades
电话： .
Eメール: dgpc@dgpc.pt ウェブサイト： http://www.patrimoniocultural.pt

特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; レストラン;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備;
サン・ククファテ（São Cucufate）のローマ時代のヴィラ(住居) 紀元1世紀につくられ、2世紀の前半に改築されたこのローマ時代のヴィラは、建て替えのために4世紀に壊されました。そのとき新築されたこの建物は現在も見ることができます。この建物は、中世においてサンティアゴ騎士団の修道院として使用された後、16世紀以降放置されていました。ヴィラの中央部は、極めて堂々たる様相を呈する左右対称の2つの塔に縁取られています。このヴィラは「サンティアゴの遺跡」とも呼ばれています。

ポルトと北部地方

Baião

Fundação Eça de Queiroz - Casa de Tormes
住所： Caminho de Jacinto, 3110 - Quinta de Tormes4640-424 Santa Cruz do Douro
电话： +351 254 882 120 ファックス： +351 254 885 205
Eメール: feq@feq.pt ウェブサイト： http://www.feq.pt

特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; レストラン;
バリアフリー案内:
入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 一部;
特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリーのエリア／サービス: 店舗, 身体障害者用設備, 中庭, ホール; 支援スキル: 運動障害;

Braga

Museu D. Diogo de Sousa
住所： Rua dos Bombeiros Voluntários 4700-025 Braga
电话： +351 253 273 706 / 253 615 844 ファックス： +351 253 612 366
Eメール: mdds@culturanorte.gov.pt ウェブサイト： https://www.museuddiogodesousa.gov.pt/

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

ドン・ディオゴ・デ・ソウザ考古学博物館（Museu Arqueológico de Braga D. Diogo de Sousa） ドン・ディオゴ・デ・ソウザ考古学博物館では、ブラガ一帯で見つかった考古学的な遺物を所蔵しています。そのコレクションは、旧石器時代から中世まで、時間的にも文化的にも幅広くカバーしています。 ローマ時代のものは特に見ごたえがあり、ローマの都市ブラカラ・アウグスタ（Bracara Augusta）の人々の生活を物語る、墓石などの品々が展示されています。

中世の墓のセクションも評価の高いセクションです。 この博物館の名前は、ディオゴ・デ・ソウザ司教とその功績をたたえてつけられたものです。ドン・ディオゴ・デ・ソウザは、1512年にブラガの司教となった後、街の拡大と向上に努め、インフラの整備に貢献しました。

現在この博物館の展示室は閉鎖されていますが、教育的なプログラムは続けられており、ブラガにある考古学的な遺跡や建物の研究訪問の企画、考古学・博物館学・復元・地域遺産をテーマとした図書館の運営、研究者のサポートなどを行っています。

Guimarães

ペーニャ神殿
住所： Penha - Costa 4810-038 Guimarães
电话： +351 253 414 114
Eメール: info@penhaguimaraes.com ウェブサイト： http://www.penhaguimaraes.com

特色とサービス:
ガイドツアー; レストラン; ショップ; カフェテリア;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;
入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;
建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア／サービス: 店舗, バー／カフェ, 身体障害者用設備, 中庭, ホール;

信仰の象徴であり、ギマランイシュ(Guimarães)の「灯台」でもあるペーニャ神殿は、唯一の美しさと建築的、宗教的価値を有するモニュメントです。

Marco de Canaveses

Estação Arqueológica do Freixo - Tongobriga
住所： Rua António Correia de Vasconcelos, 514630-095 Marco de Canaveses
电话： +351 255 531 090 / 934 057 060
Eメール: tongobriga@culturanorte.gov.pt ウェブサイト： http://culturanorte.pt/pt/patrimonio/estacao-arqueologica-do-freixo-tongobriga/

特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; レストラン; fieldmacafetaria;

フレイショの遺跡 - トンゴブリガ

マルコ・デ・カナヴェゼズ [**Marco de Canaveses**]
にあるサンタ・マリア・ド・フレイショ [**Santa Maria do Freixo**]
の村の下にローマ都市トンゴブリガ [**Tongobriga**] の遺跡があります。遺跡が散在するおよそ15ヘクタールのエリアは国定史跡として分類されており、北部地域文化局の管理下にあります。

遺跡の一部はすでに考古学者による調査が行われ、観光客が訪れることができます。

- 外壁が残るおよそ13ヘクタールのエリアは、フレイショの村全体におよびます。その内部には紀元1世紀～5世紀の間に建設された前ローマ時代やローマ時代の住居施設も収容されています。

- 要塞化した村（前ローマ時代）の水浴場や公会広場、ローマ風呂があり、風呂は紀元1世紀および2世紀にその起源をさかのぼります。これらの施設はフレイショの村がある丘の麓の外壁の外にあります。

ローマ時代の広場や風呂はこの遺跡のかつての図書館を構成しており、その歴史的価値からひと際目を引く存在です。

フレイショの遺跡には観光客が利用できる施設がいくつかあります。利用案内センター（来訪者用の受付を収容）とトンゴブリガがローマ帝国の一部となったときに起こった住民生活の変化についての常設展示があります。レストラン/カフェテリア、講堂（遺跡についてのドキュメンタリーを鑑賞可能）、訪問することができる4つの考古学的遺跡や数多くの仮説展示場があります。

フレイショ [Freixo]
の村は、居心地のいい歴史を感じる場所であり、「ポルトガル [Portugal] の歴史村」の一部をなしています。中でも注目すべきはサンタ・マリアの小教区教会です（その下にはモザイクを伴うローマ時代の住居の遺跡があります）。20世紀の初めに終了したポルトガル北部最大級の祭り（いわゆる「レント・フェア」）に関連する建物が複数あります。そしてカナヴェゼズのカピタン・モール（司令官）であるアントニオ・デ・セルパ・ピント [António de Serpa Pinto]
がフランスの侵略を受けた時に発注し建設された領主の館があります。

Peso da Régua

Museu do Douro
住所： Rua Marquês do Pombal 5050-286 Peso da Régua
电话： +351 254 310 190 ファックス： +351 254 310 199
Eメール: geral@museudodouro.pt ウェブサイト： http://www.museudodouro.pt

バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
支払い:
クレジットカード利用可;

Porto

Museu do Papel Moeda da Fundação Dr. António Cupertino de Miranda
住所： Avenida da Boavista, 4245 4100-140 Porto
电话： +351 226 101 189 ファックス： +351 226 103 412
Eメール: sefacm@mail.telepac.pt ウェブサイト： http://www.facm.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備;
特色とサービス:
ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

Palácio da Bolsa
住所： Rua de Ferreira Borges 4050-253 Porto
电话： +351 223 399 013 ファックス： +351 223 399 090
Eメール: turismo@cciporto.pt ウェブサイト： http://www.palaciodabolsa.com

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; レストラン;
支払い:
クレジットカード利用可;

ボルサ宮（Palácio da Bolsa） ボルサ宮（証券取引所）は、ポルトで最も重要な歴史的建造物のひとつであり、この街で絶対に見逃せない場所のひとつです。 19世紀の後半に新古典主義の様式でつくられた建物で、ポルト商工会の本部として使われていました。この事実からも商業がこの街の歴史にとっていかに重要なものであったかが分かります。1841年にマリア2世の命令により証券取引所として使われるようになりますが、1911年に商工会へ返還されています。 この建物は、ポルトの建築家ジョアキン・ダ・コスタ・リマ・ジュニオールが設計しました。建築的に優れた建物で、英国のパラディオ様式やポルトの街の他の建物を参考にしたことがはっきりと分かります。参考にした建物には、ジョン・カーが設計したサント・アントニオ病院（Hospital de Santo António）、カルロス・アマランテが設計した海運貿易学院（Academia da Marinha e Comércio：現在は科学大学[Faculdade de Ciências]）、ジョン・ホワイトヘッドが設計した工場（Feitoria Inglesa）などがあります。 宮殿内では、中央の中庭（Pátio das Nações）や、アラブの間（Salão Árabe）が見どころです。1862年にゴンサルヴェス・イ・ソウザによってつくられたアラブの間は、新ムーア様式の華麗な装飾をほどこした独特な部屋です。かつてはここで、世界

Museu Nacional de Soares dos Reis
住所： Rua D. Manuel II 4050-342 Porto
电话： +351 22 339 37 70 ファックス： +351 22 208 28 51
Eメール: mnsr@imc-ip.pt ウェブサイト： http://mnsr.imc-ip.pt

バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
支払い:
クレジットカード利用可;

ソアレス・ドス・レイス国立美術館（Museu Nacional de Soares dos Reis） この美術館は、18世紀に建てられた新古典主義の宮殿に設けられています。19～20世紀のポルトガル絵画の素晴らしいコレクションを所有しており、中でも「ポルト派」と呼ばれる自然主義画家たちの時代の作品は特に見ごたえがあります。その中にはシルヴァ・ポルト、マルケス・デ・オリヴェイラ、アルトゥール・ロウレイロ、エンリケ・ポウザンの作品が含まれています。優れた彫刻家であったソアレス・ドス・レイス（1847－1889）の重要作品のコレクションもあります。 宮殿のメインフロア（現在修復工事中）には、その他に食堂や音楽室があり、宮殿として使われていた当時の装飾が一部残っています。このエリアは17～18世紀の絵画と装飾美術品の展示に使用されています。装飾美術品の中には、ポルトガル北部のファイアンス焼きの品をはじめとする興味深い陶磁器の数々、東洋の磁器、金細工、宝飾品、ガラス製品、家具などがあります。

の要人たちの歓迎式典など、ポルトで最も重要な公の式典が行われていました。現在この部屋は文化的な催しに使用されています。

São João da Madeira

帽子博物館（Museu de Chapelaria）
住所： Rua Oliveira Júnior, 5013700-204 São João da Madeira
电话： +351 256 201 680
Eメール: museu.chapelaria@gmail.com ウェブサイト： http://museudachapelaria.blogspot.com

バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備;
特色とサービス:
ショップ; レストラン;

ここは1914年、サン・ジョアン・ダ・マデイラ (São João da Madeira) の名士で、のちに当時の政府に産業・農業功労賞を授与されたアントニオ・ジョゼ・オリヴェイラ・ジュニオールによって創設され、その頃の人々に「新工場」（Fábrica
Nova）として知られるようになったところです。

工場は製造技術にかけては革新的で、常に市場のニーズを把握して最先端を走りました。この会社は、メリノウール（ファインウール）の帽子の商品化も行いました。いわゆる「ファッション帽」と呼ばれるもので、従来製造されてきた、きめの粗いウールの帽子とは全く異なるものでした。このファッション帽の製造機と製造技術を有するポルトガル唯一の企業として、エンプレサ・インドゥストリアル・デ・シャペラリア社 (Empresa Industrial de Chapelaria)
は長年にわたりその製造と販売を独占していました。

帽子産業の黎明期からの歴史の一部を担い、結果として、その繁栄と衰退の時代をともに歩んだエンプレサ・インドゥストリアル・デ・シャペラリア社は1995年に閉鎖されました。同社は、帽子づくりを生涯の仕事とした帽子製造者や職人を何世代にもわたって雇用、育成した工場のイメージと永遠に結びつけられるでしょう。

オリヴェイラ・ジュニオール通り (Rua Oliveira Junior)
にあり、現在、帽子博物館（Museu de Chapelaria）が入居する建物は、均整のとれた落ち着いたデザインで知られ、それ自体がポルトガル建築史の一時代を映すものとなっています。

Viana do Castelo

Forte de Santiago da Barra
住所： Castelo Santiago da Barra4900-360 Viana do Castelo
电话： +351 258 820 270
Eメール: turismo@portoenorte.pt ウェブサイト： http://www.portoenorte.pt/pt/contactos/informacao/sede/

特色とサービス:
ガイドツアー; レストラン;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;
入口へのバリアフリー経路: 一部; バリアフリー入口: 全部;
建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリーのエリア／サービス:
身体障害者用設備, ホール; バリアフリー情報: 案内板,
双方向型・視聴覚資料を用いた発表;

サンチャゴ・ダ・バラ砦 [Forte de Santiago da Barra]
海のすぐ横、リマ川[Lima]河口の砂州に立つ最初の砦の起源はアフォンソ3世[Afonso III]の時代(13世紀)に建てられた信じられています。しかし、実際に確認されているのは最も古くても15世紀頃であり、16世紀のマニュエル1世[Manuel I]の時代に完成したと考えられています。砦の持つさま

ざまなマヌエル様式の建築的特徴がそれを示しており、現在の砦の南西にある「ロケータ塔」[Torre da Roqueta]に特に顕著に現れています。

16世紀の終わりに、一連の改修工事が実施されました。当時はフェリペ2世[Filipe II](ポルトガル国王フェリペ1世)が統治していましたが、すでにスペインの占領下にありました。そのため現在の多角形の間取りの砦は、当時の軍事施設建築の最も有名な建築家であったフィリッポ・デ・テルジ[Filippo de Terzi]の設計が基になっています。

Vila Nova de Foz Côa

Museu da Casa Grande
住所： Rua Direita 5155 Freixo de Numão
电话： +351 279 789 573 ファックス： +351 279 789 573
Eメール: freixo.acdr@clix.pt ウェブサイト： http://www.acdr-freixo.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
特色とサービス:
ガイドツアー; レストラン;

Vila Nova de Gaia

WOW – World of Wine
住所： Rua do Choupelo, 39　　4400-088 Vila Nova de Gaia, Portugal
电话： +351 220 121 200
Eメール: info@wow.pt ウェブサイト： https://wow.pt/pt

特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア／サービス: 店舗, バー／カフェ, 身体障害者用設備, 中庭;

World of Wine は、ポルト市街のいわゆるワイン地区にいくつかの体験スポットを収容する複合施設です。7つの博物館、12のレストラン、バー、そしてカフェスペース、「ワインスクール」、複数のショップ、展示ホール、そしてイベントスペースからなります。

ドゥーロ川の南岸にあるVila Nova de Gaiaに位置し、Ribeira do Porto（ポルトのリバーサイド）とルイス1世橋を見渡し、プロジェクトは古いポートワインセラーの修復から始まり、ワイン製造にまつわる歴史と思いを様々な形態で伝えることを目的としています。

7つの
テーマの博
物館があります：ワイ
ンをわかりやすく説明する**ワイン体験**
；インビクタシティ
ーの歴史と遺産を明らかにする**ポルト地域の歴史**
；コルクの世界を紹介する**コルクの惑星**
；ココアの世界を紹介する
チョコレート・ストーリー
；ガラス細工の歴史的変遷をたどる
ブリッジ・コレクション
；ポルトガルのファ
ッションのショーケースである
**ポルト・ファッシ
ョン・アンド・ファブリック博物館**

；ロゼワ
インのコンセプト
にビジターを浸らせる最近完成した**ピンクの宮殿**です。

ワインスクールでは、World of Wineの博物館のテーマに関連する授業や
ワークショップに参加することもできます。

ポルトガル中部地方

Caldas da Rainha

Casa-Museu São Rafael

住所： Rua Rafael Bordalo Pinheiro, 53　2500-246 Caldas da Rainha

电话： +351 262 839 384 ファックス： +351 262 839 382

Eメール: museu@fabordalopinheiro.pt ウェブサイト： http://www.fabordalopinheiro.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; レストラン;
サン・ラファエル博物館（Casa-Museu São Rafael）
この博物館のコレクションは、主にボルダロ・ピニェイロ工場（Fábrica Bordalo Pinheiro）において長年にわたってつくられてきた陶磁器からなっています。その中には、19世紀終わりにピニェイロがデザイン・製造した作品の現物や複製が含まれています。

Coimbra

Museu da Associação Académica de Coimbra

住所： Rua D. Manuel I 3030-320 Coimbra

电话： +351 918 901 679

Eメール: vasco.dordio@academica-oaf.pt ウェブサイト： http://www.academica-oaf.pt

特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; レストラン;
バリアフリー案内:
入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;
建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア／サービス: 店舗, ホール; 支援スキル: 運動障害, 精神障害;

Museu do Azeite - Bobadela

住所： Travessa dos Vales, n.º 73405-008 BobadelaCoimbra

电话： +351 238 603 095

Eメール: info@museudoazeite.com ウェブサイト： https://museudoazeite.com/

その他の情報:
レストラン
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
支払い:
クレジットカード利用可;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;
入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;
建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア／サービス: 店舗, バー／カフェ, 身体障害者用設備, 中庭, ホール; バリアフリー情報: 凡例, 双方向型・視聴覚資料を用いた発表, 触覚的探索用のアイテム;
支援スキル: 視覚障害, 聴覚障害, 運動障害, 精神障害;
利用可能な支援プロダクト／サービス: 視覚障害, 聴覚障害, 運動障害, 精神障害;

Covilhã

Museu de Lanifícios da Universidade da Beira Interior
住所： Rua Marquês d´Ávila e Bolama 6200-001 Covilhã
电话： +351 275 241 411 / 275 241 410
Eメール: muslan@ubi.pt ウェブサイト： http://www.museu.ubi.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
コヴィーリャ羊毛博物館（Museu dos Lanifícios da Covilhã）
コヴィーリャ羊毛博物館は、ベイラ・インテリオール大学（Universidade da Beira Interior）が所有する博物館です。大学と同様に、この街で最も堂々とした建物である旧王立布地工場に入っています。 この建物は、ジョゼI世の時代であった1769年に建造されたもので、そのファサードにはジョゼI世の紋章が見られます。この建物の中で、染色に使っていた円柱形の穴や炉が今も残る染色作業所の一部が、コヴィーリャの羊毛産業の歴史を紹介する場所として選ばれました。 この博物館の展示は、ポンバル時代における王立布地工場の染色作業、コヴィーリャ地方における19～20世紀の羊毛産業、そして毛織物という3つのセクションに分かれています。 コヴィーリャの街における羊毛産業の重要性と、羊毛産業が地域の生活様式に与えてきた影響についてよく理解するためには、欠かすことのできない博物館です。

Porto de Mós

CIBA - Centro de Interpretação da Batalha de Aljubarrota
住所： Av. D. Nuno Álvares Pereira, nº 120, São Jorge 2480-062 Calvaria de Cima
电话： +351 244 480 060
Eメール: info.geral@fundacao-aljubarrota.pt ウェブサイト： http://www.fundacao-aljubarrota.pt;https://visite.portodemos.pt

その他の情報:
CIBAとバターリャの修道院を結ぶ、歴史電車（Comboio Histórico）が走っています。週末のみ30ごとの運行。;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備; 車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;
入口へのバリアフリー経路: 一部; バリアフリー入口: 全部;
特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;
バリアフリーのエリア／サービス: 店舗, バー／カフェ, 身体障害者用設備, 中庭, ホール; バリアフリー情報: 案内板,
双方向型・視聴覚資料を用いた発表, 触覚的探索用のアイテム;
支援スキル: 運動障害; 利用可能な支援プロダクト／サービス: 運動障害, 精神障害;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
支払い:
クレジットカード利用可;
アルジュバロッタの戦い研究センター（O Centro de Interpretação da Batalha de Aljubarrota (CIBA)）は、サン・ジョルジェ古戦場 （Campo Militar de S. Jorge）を重要視し、保護するために立ち上げられた、アルジュバロータの戦いの財団（Fundação da Batalha de Aljubarrota）によるプロジェクトです。
この施設は、サン・ジョルジェ（São Jorge）に在り、この戦いについての解説エリアが、教育とエンターテイメントという新しい概念により、4つの核から成り立っています。それぞれのエリアにおいて、来場者に対して、アルジュバロータの戦いが、如何にして起こり、どんな戦いであったかの解説がなされています。最初の2つのエリアでは、過去の記述や、戦場の考古学的な発見に基づいた、アルジュバロータの戦いの解説があります。ここには、この戦いの復興および関連イベントに関する映像を上映する、オーディオルームの設備もあります。そして、3つ目のエリアでは、戦いの目的について、科学的、文学的、それぞれ違った見解を通して、アルジュバロータについての様々な解釈がなされています。最

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com

後のエリアは、このセンターの外部のスペースで、サン・ジョルジェ平原（Campo de São Jorge）と呼ばれる、戦場において最も重要であった場所を示しています。 このセンターの見学に要する時間は約50分です。
CIBAとサン・ジョルジェ平原(Campo de São Jorge)
両方見学の場合は約2時間です。

Viseu

Museu Nacional Grão Vasco

住所： Paço dos Três Escalões 3500-195 Viseu

电话： +351 232 422 049 ファックス： +351 232 421 241

Eメール: mngv@mngv.dgpc.pt ウェブサイト： http://www.museunacionalgraovasco.gov.pt/;http://www.patrimoniocultural.gov.pt/pt/museus-e-monumentos/rede-portuguesa/m/museu-grao-vasco/

バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備; 車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 建物内のバリアフリー通路: 全部;
バリアフリーのエリア／サービス: 身体障害者用設備;
利用可能な支援プロダクト／サービス: 視覚障害;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

グラン・ヴァスコ美術館（Museu de Grão Vasco） 1915年に創設されたグラン・ヴァスコ美術館は、ヴィゼウ（Viseu）の街のカテドラルに隣接する司教館を利用した美術館です。その創設者フランシスコ・デ・アルメイダ・モレイラは、ポルトガルの美術品、特に近現代における最高のポルトガル人画家たちの作品を収集することに力を注ぎました。 美術館に入る前に、溝彫りをほどこした2本の柱が両端に立つ洗練されたポルティコ（柱廊玄関）を見れば、このルネッサンス時代の建物の崇高さを感じることができます。この司教館は、さまざまな高位聖職者（恐らく始めは1466年から1482年にヴィゼウ司教を務め、この中庭に眠るジョアン・ゴメス・デ・アブレウ）の手でつくられてきたものです。後年この司教館には、すべてのカテドラルに対して一定人数の若者の教育を義務付ける1563年のトレント公会議の決定を受けて、コンシラール神学校も併設されました。 所蔵品には、本来礼拝の儀式に用いられていた品々（ルネッサンスからバロック時代にかけての絵画、彫刻、金銀器、象牙細工）に加え、考古学的遺物、19世紀の重要なポルトガル絵画、ポルトガル製のファイアンス焼きがあり、東洋の磁器や家具もいくつか含まれています。 この美術館のメインとなる展示品は、グラン・ヴァスコの名で知られるヴァスコ・フェルナンデス（1475－1542）と、その主な合作者であるガスパール・ヴァスの素晴らしい絵画の数々です。

マデイラ諸島

Funchal

Museu da Quinta das Cruzes

住所： Calçada do Pico, 1 9000-206 Funchal

电话： +351 291 740 670 ファックス： +351 291 741 384

Eメール: mqc.drac.srt@gov-madeira.pt ウェブサイト： http://www.museuquintadascruzes.com/

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
特色とサービス:
ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

Museu de Arte Sacra do Funchal

住所： Rua do Bispo, 21 9000-073 Funchal

电话： +351 291 228 900 ファックス： +351 291 231 341

Eメール: masf@netmadeira.com ウェブサイト： http://www.museuartesacrafunchal.org/homepage.html

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
特色とサービス:
ショップ; レストラン;

Ilha da Madeira

MUDAS. Museu de Arte Contemporânea da Madeira
住所： Estrada Simão Gonçalves Câmara 379370-139 Estreito da Calheta
电话： (+351) 291 820 900 ファックス： (+351) 291 820 911
Eメール: mudas@madeira.gov.pt ウェブサイト： https://cultura.madeira.gov.pt/mudas-museu-de-arte-contemporanea-da-madeira;http://www.mudasmuseuvirtual.com/

特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

2015年10月に設置されたこの美術館ユニットは、フンシャウ（Funchal）現代美術館のコレクションを移転されて出来上がりました。1960年代から現在に至るまで、ポルトガルの現代美術に特化した約400点のコレクションで、最初の核は1966年と1967年のイニシアチブによるフンシャウ市優良芸術賞の取得から生まれました。

最初の作品群には、ジョアキン・ロドリゴ、アントニオ・アレアウ、アルトゥール・ローザ、ジョゼ・エスカーダ、イレナ・アルメイダ、ジョルジュ・マルティンス、ヌノ・シケイラ、マヌエル・バプティスタなどの作品が含まれています。多くがマデイラ出身の有名なポルトガルの造形芸術家によるこれらの作品には、アートギャラリーや作家自身から購入した他の作品や、地域観光文化事務局の旧ギャラリーでの展示会やアナ・ハザリー、ペドロ・ヴァウデス・カルドーゾ、アウブケルケ・メンデシュ、ソフィア・アレアルなどの個人からの寄付が伴います。

1992年の旧美術館の開館から2015年までの間に、現在のコレクションのサイズのスペースは使い果たされていました。国際的な賞を受賞した現在の建物は、マデイラの建築家パウロ・ダヴィッド（Paulo David）によって設計されました。落ち着いた美しさを念頭に置き、周囲を取り囲む斜面と海を見晴らす眺めを想定して設計されています。

講堂、図書館、ショップ、カフェテリア、レストラン、文化的娯楽のためのエリア、駐車場も含まれています。

リスボンとその周辺地方

Cascais

Casa das Histórias Paula Rego
住所： Av. da República, 300 2750-475 Cascais
电话： +351 21 482 69 70 ファックス： +351 21 482 69 71
Eメール: chpr@cm-cascais.pt ウェブサイト： http://www.casadashistoriaspaularego.com

バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

Lisboa

Casa Fernando Pessoa

住所： Rua Coelho da Rocha, 16-18 (Campo de Ourique)　1250-088 Lisboa
电话： +351 21 391 32 70 - +351 21 391 32 77 ファックス： +351 21 391 32 78
Eメール: info@casafernandopessoa.pt ウェブサイト： http://www.casafernandopessoa.pt

その他の情報:
フェルナンド・ペソア博物館[Casa Fernando Pessoa]は改修のため、閉館しております。
ですが、「アウェイフロムホーム」アクティビティプログラムによる学習サービスは、引き続き開催しています。
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

フェルナンド・ペソア博物館（Casa-Museu Fernando Pessoa） リスボン（Lisboa）市議会は、詩人のフェルナンド・ペソアが晩年を過ごした家を利用して、1993年にフェルナンド・ペソア博物館を設立しました。フェルナンド・ペソアは世界でも最も偉大な詩人のひとりに数えられています。 この博物館は、この家を真の「詩の殿堂」にすることによって、ペソア作品の研究を支援し、芸術的な創作活動を促進することを目的としています。ここでは、フェルナンド・ペソアが使っていた眼鏡、ペソアの詩集「メッセージ（Mensagem）」の初版本、1930年代のポルトガル文化における重要人物であったアントニオ・フェーロにペソアが送った手書きの手紙などを見ることができます。 現在の建物は、フェルナンド・ペソアの研究家らとイタリア人建築家ダニエラ・エルマーノの設計により、家の外壁を残しながら博物館としての新たな役割に適した形に改築されています。現在、ペソアが暮らしていた当時の家具が置かれているのは、ペソアの寝室のみです。 ここにはペソアの作品や世界の詩に関する書籍等を集めた質の高い図書室が設けられており、世界中から多くの研究家たちが訪れます。この博物館は美術展覧会や大規模な編集作業にも使われています。 ペソアのファンにお勧めの順路： 午前中にフェルナンド・ペソア博物館を見学。次にシアードにあるカフェ「ブラジレイラ（Brasileira）へ行き、道端に並ぶテーブル（できればペソアの像のそばの席）に座る。コーヒーを片手に「メッセージ」の詩を何篇か読む。 その後コメルシオ広場（Praça do Comércio）へ行き、フェルナンド・ペソアが長年通ったカフェ・マルティーニョ・ダ・アルカーダ（Café Martinho da Arcada）で昼食をとる。

Centro de Arte Moderna José de Azeredo Perdigão

住所： Rua Dr. Nicolau Bettencourt　1050-078 Lisboa
电话： +351 21 782 30 00 - 21 782 34 74 ファックス： +351 21 782 30 37 - 21 782 30 34
Eメール: camjap@gulbenkian.pt ウェブサイト： http://www.camjap.gulbenkian.org

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
ジョゼ・デ・アゼレード・ペルディガン現代美術センター（Centro de Arte Moderna José de Azeredo Perdigão） この美術館は、絵画、彫刻、デッサン、写真、版画など、20世紀ポルトガル美術の貴重なコレクションを所有しています。その中には、アマデオ・デ・ソウザ・カルドソ（1887－1918）の代表的な作品のコレクションも含まれています。 1960年代から現代にかけての英国のアート、アーシル・ゴーキー（1904－1948）の作品を中心としたアルメニアのアート、ヴィエラ・ダ・シルヴァとアルパド・スゼンヌの作品の重要なコレクションも展示しています。

Castelo de São Jorge

住所： 1100-129 Lisboa
电话： +351 218 800 620 ファックス： +351 218 875 695
Eメール: info@castelodesaojorge.pt ウェブサイト： http://www.castelodesaojorge.pt;http://www.egeac.pt

その他の情報:
バス37番、トラム12～28番;
特色とサービス:
ガイドツアー; レストラン; ショップ; カフェテリア;
サン・ジョルジェ城（Castelo de São Jorge） リスボンで一番高い丘の上に位置するサン・ジョルジェ城は、この町で最もすばらしいランドマークの1つです。 最も古いと知られている要塞は、紀元前2世紀に建てられたものですが、ここでは、紀元前6世紀という非常に古い時代の遺跡も発見されています。これまでの考古学調査で、フェニキア人、ギリシャ人、カルタゴ人、ローマ人、イスラム教徒がこの場所に存在していた証拠が見つかっており、ここが大昔から頻繁に占領されていたことが証明されています。 この城自体は、リスボンがイスラム教徒の重要な港となっていた10～11世紀に建造されたもので、1147年にポルトガルの初代の王、ドン・アフォンソ・エンリケス（Dom Afonso Henriques）によって、町とともにムーア人から奪回されました。 この城が最も重要性を帯びていたのは、13～16世紀です。16世紀には、この場所で、ドン・マヌエル1世（Dom Manuel I）王がインドへの航海から戻ったヴァスコ・ダ・ガマ（Vasco da Gama）を迎え入れ、また、後に王となるドン・ジョアン3世（Dom João III）の誕生を祝して、ポルトガル初となる演劇が上演され、ジル・ヴィセンテ（Gil Vicente）が書き下ろした劇が上演されました。 この城は、1910年に国の記念建造物に指定され、20世紀の間に大規模な再建工事が行われた結果、今日の様な姿となっています。サン・ジョルジェ城は、町で最も重要な場所の1つであり、この辺りに住む人たちの間で人気のある憩いの場になっています。また、市街地やテージョ川が一番よく見渡せる場所だと言われています。

Museu Arpad Szenes - Vieira da Silva

住所： Praça das Amoreiras, 56- 58　1250-020 Lisboa
电话： +351 21 388 00 44 / 53 ファックス： +351 21 388 00 39
Eメール: fasvs@fasvs.pt ウェブサイト： http://www.fasvs.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
アルパド・スゼンヌ - ヴィエラ・ダ・シルヴァ美術館（Museu Arpad Szenes - Vieira da Silva） この美術館の所蔵品には、アルパド・スゼンヌ（1897－1985）とマリア・ヘレナ・ヴィエラ・ダ・シルヴァ（1908－1992）の絵画があります。この美術館は、ジョアン5世の時代の1734年に設立された古い絹工場を利用しています。近くの公園にはたくさんの美しいクワの木が植えられており、その横にはジョアン5世の命令で建設された水道橋のアーチが続いています。 この美術館では、作品にスゼンヌやシルヴァと何らかの共通点があるアーティストや、この2人と生活や仕事を共にしたアーティストの作品を展示する特別展も定期的に開催しています。

Museu de São Roque

住所： Largo Trindade Coelho1200-470 Lisboa
电话： +351 21 323 50 65 ファックス： +351 21 323 50 60
Eメール: info@museu-saoroque.com ウェブサイト： http://www.museu-saoroque.com;http://www.scml.pt

その他の情報:

Museu de Arte Contemporânea - MAC/CCB

住所： Centro Cultural de BelémPraça do Império1499-003 Lisboa

电话： +351 213 612 400

Eメール: mac@ccb.pt ウェブサイト： http://www.ccb.pt/macccb

特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
支払い:
クレジットカード利用可;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;
入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;
特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア／サービス: 店舗, バー／カフェ,
身体障害者用設備, 中庭, ホール; バリアフリー情報: 案内板, 凡例;
支援スキル: 視覚障害, 運動障害, 精神障害;
利用可能な支援プロダクト／サービス: 視覚障害, 運動障害, 精神障害;

Museu do Campo Pequeno

住所： Praça do Campo Pequeno1000-306 Lisboa

电话： +351 21 799 84 50

Eメール: museu@campopequeno.com ウェブサイト： http://www.campopequenotauromaquia.com

時刻表:
10:00 - 13:00 / 14:00 - 18:00;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

Museu Nacional de Arte Antiga

住所： Rua das Janelas Verdes 1249-017 Lisboa

电话： +351 21 391 28 00

Eメール: geral@mnaa.dgpc.pt ウェブサイト： http://www.museudearteantiga.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

国立古美術館（Museu Nacional de Arte Antiga） 16世紀にカルメル会の修道院があった場所に建つ17世紀の館を利用した美術館です。修道院があった頃の建物では、バロック様式の礼拝堂のみが残っています。この美術館はポルトガルで重要な美術館のひとつであり、その敷地の中にはテージョ川（Rio Tejo）を見下ろす素晴らしい庭園があります。 ヌーノ・ゴンサルヴェス（15世紀）、フレイ・カルロス、ヴァスコ・フェルナンデス、クリストヴァン・フィゲイレド、グレゴリオ・ロペス（16世紀）、ヴィエラ・ポルトゥエンセ、ドミンゴス・セケイラ（18〜19世紀）といったポルトガル人画家の素晴らしい絵画に加え、優れたヨーロッパの流派や画家（メムリンク、ボシュ、デューラー、ホルバイン、ジェラール・ダヴィッド、ルーカス・クラナッハ、モラレス、ピーテル・デ・ホーホ、スルバラン、ピエロ・デッラ・フランチェスカ、ラファエロ、フラゴナール、クールベなど）の作品も所蔵しています。 中世からバロック時代にかけての宗教彫刻のコレクション（マシャード・デ・カストロ作の非常に美しいキリスト生誕像数点を含む）や、素晴らしい装飾美術品のコレクションもあります。装飾美術品の中には、ポルトガルおよび東洋の陶磁器（16〜18世紀）、家具、アライオロスのじゅうたん、テキスタイルがあります。 忘れてはならないのが、ポルトガルで最も重要な金銀器のコレクションです。中世につくられたものから、18世紀のバロック様式の素晴らしい品、フランス系ドイツ人の金細工職人（父と息

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

サン・ロケ博物館（Museu de São Roque） この博物館は、宗教的な慈善施設サンタ・カーザ・ダ・ミゼルコルディア（Santa Casa da Misericórdia）の所有する品々を公開した展覧会に端を発しています。この展覧会は、ヴァスコ・ダ・ガマのインド到達400周年を記念すると共に、イエズス会による東洋での布教活動を祝って、1898年にリスボンで開かれました。 この博物館の所蔵品は、4つのセクションに分けて展示されています。そのセクションには、リスボンのサンタ・カーザ・ダ・ミゼルコルディアの遺産、サン・ロケ教会と聖ロケの伝説に関する絵画等の作品、サン・ジョアン・バプティスタ礼拝堂（Capela de São João Baptista）の至宝、かつてのイエズス会の所蔵品、の4つがあります。イエズス会は、サン・ロケ学校を創設時（16世紀）から同会がポルトガルから追放される1768年まで運営していました。 この博物館で見ることのできる多数の貴重な品々の中でも、聖ロケの伝説に関する絵画、グレゴリオ・ロペスの作といわれるポルトガル王ジョアン3世とその妻カタリナの肖像画（16世紀）、慈愛の書、マヌエル1世とレオノール王妃の婚礼を描いた絵画（16世紀）は特に見逃せません。

Museu do Oriente

住所： Avª. Brasília, Doca de Alcântara (Norte) 1350-302 LIsboa

电话： +351 21 358 52 00

Eメール: info@museudooriente.pt ウェブサイト： http://www.museudooriente.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
支払い:
クレジットカード利用可;
はるか極東の港にたどりついた最初の国、ポルトガル。そのポルトガルとアジアとの歴史的なつながりの証にふさわしく、オリエント博物館（Museu do Oriente）はアルカンタラ河岸（Doca de Alcântara）に位置し、博物館のある40年代の建物のかたわらをテージョ川が流れるという、すばらしい環境にあります。 当博物館は、二つの常設展を大きな柱としています。1階の展示は「アジアにおけるポルトガルの存在」と題し、オリエント財団が長年にわたり収集した美術品、資料類から構成されています。非常に価値の高い収蔵品のなかでも、特筆すべきは17、18世紀の中国・日本の屏風、南蛮美術、インド会社の刻印入り陶磁器コレクション、チモール原住民の文化に関する品々です。 2階の展示「アジアの神々」は、クォク・オン・コレクションを基に計画されたもの。1万3千点以上の品々からなるこのコレクションは、ヨーロッパのこの種のものでは最も重要なひとつとされています。展示室には、操り人形、仮面、絵画、祭具、ランプ、竜、遊具、像など、アジアの芸能美術、民間伝説・信仰の証たる品々が並んでいます。 また館内には、特別展示のためのスペースや、音楽、ダンス、演劇、映画、人形劇など、さまざまな文化イベントのための多目的スペースも備わっています。

Museu Nacional do Azulejo

住所： Rua Madre de Deus, 4 1900-312 Lisboa

电话： +351 21 810 03 40 ファックス： +351 21 810 03 69

Eメール: mnazulejo@imc-ip.pt ウェブサイト： http://mnazulejo.imc-ip.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

子）によって王室用につくられた非常に美しい銀食器まで、さまざまなものがあります。 ポルトガル人と世界のさまざまな国の人々との特別な関係を示すため、アフリカ、インド、中国からわたってきた、象牙細工、家具、刺繍、銀器、磁器、絹製品などの貴重な装飾品のコレクションも展示しています。屏風や漆器を含む、日本の南蛮美術のコレクションもあります。

Museu Nacional do Teatro

住所： Estrada do Lumiar, 10 - 12 1600-495 Lisboa

电话： +351 21 756 74 10 / 19 ファックス： +351 21 757 57 14

Eメール: mnteatro@ipmuseus.pt ウェブサイト： http://museudoteatro.imc-ip.pt

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
国立演劇博物館（Museu Nacional do Teatro） 夏の住まいとしてつくられた18世紀の小さな館を利用した博物館です。その19世紀の外装は、博物館用に大きく区切られた部屋の内装とよく調和しています。建物の周りにある庭園は、19世紀にここを所有していたアンジェジャ侯爵がつくったもので、リスボンでも美しい庭園のひとつです。 この博物館に足を踏み入れると、強い感情にいろどられた演劇独特の雰囲気が感じられます。館内にある実物大のセット、舞台衣装、衣裳部屋、小道具、主役たちの風刺画や写真、19〜20世紀につくられた紙製のミニ劇場、そして数千枚に及ぶ写真を見れば、いつの時代にも変わらぬ舞台の不思議な魅力を感じることができます。外ではのんびりと歩きながら自然の魅力を堪能し、彫刻の庭園を眺めて楽しむことができます。 ここの一番の見どころのひとつは、舞台と演技に一生を捧げたポルトガルの偉大な俳優や女優へのオマージュです。その中には、エドゥアルド・ブラザンとローザ・イ・ブラザン劇団（1880－1898）、アメリア・レイ・コラソとレイ・コラソ・ロブレス・モンテイロ劇団、女優のヴィルジニア、アマリア・ロドリゲス、ヴァスコ、エンリケ・サンタナなどがいます。 約30,000冊を所蔵するここの図書館は、重要書の揃ったポルトガル最大の舞台芸術専門図書館です。

Museu-Escola de Artes Decorativas Portuguesas

住所： Largo das Portas do Sol 21100-411 Lisboa

电话： (+351) 21 881 46 40 ¦ (+351) 21 881 46 00

Eメール: museu@fress.pt ウェブサイト： https://www.fress.pt/museu/um-projeto-original/

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
支払い:
クレジットカード利用可; トラベラーズチェック利用可;
ポルトガル装飾芸術学校博物館（Museu-Escola de Artes Decorativas Portuguesas） 銀行家で美術品の収集家でもあったリカルド・エスピリト・サント・シルヴァは、1953年にその貴重な美術品コレクションの一部を国に寄贈しました。その多大な寄贈物のひとつにアズラーラ宮（Palácio Azurara）がありました。これは18世紀につくられた美しい建物で、リスボンの古い街並みを残す地区の中でも特に美しい場所であるポルタス・ド・ソル広場（Largo das Portas do Sol）の近くにあります。 アズラーラ宮の各部屋には真の名品が数多く飾られており、18世紀のポルトガル貴族の館の優雅な雰囲気にひたることができます。ポルトガルでも有数の貴重な家具のコレクションがあり、ポルトガルと遠方の国々との出会いを象徴する品々を含む、16世紀から19世紀の家具が展示されています。 装飾品の中には、最高品質のアライオロス（Arraiolos）のじゅうたん、東洋の影響を受けたキルトや刺繍、ポルトガル人画家やポルトガルに

バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
国立アズレージョ美術館（Museu Nacional do Azulejo） この美術館は、1509年にレオノール王妃によって建てられたマドレ・デ・デウス修道院（Convento da Madre de Deus）を利用しています。 現在の建物は、優れた17世紀の建築に18世紀の絢爛なバロック様式の装飾が組み合わされたものです。来館者は、教会、聖具室、礼拝堂など、修道院全体を見学することができます。 この美術館が所蔵する素晴らしいアズレージョの中には、15世紀から現代にかけてのポルトガルにおけるアズレージョの歴史的、技術的、芸術的進化を示す品々が含まれています。主要な展示品として、「生命の聖母（Nossa Senhora da Vida）」のパネル（1580年）、東洋の影響を受けた祭壇前部、狩りの様子を描いたパネル（1680年）、「舞踏の稽古（Lição de Dança）」（1707年）、18世紀につくられたサント・アントニオ礼拝堂（Capela de Santo António）の壁画タイル、1755年の大地震以前の「リスボン展望図（Vista Panorâmica de Lisboa）」、「帽子屋の物語（História do Chapeleiro）」（1800年）があります。20世紀の陶芸作品やアズレージョには、ジュリオ・バラーダス、マリア・ケイル、ジュリオ・ポマール、カルガレイロ、ケルビン・ラパといったアーティストの作品があります。

Museu Nacional do Traje

住所： Largo Júlio de Castilho - Lumiar1600 - 483 Lisboa

电话： +351 217 567 620

Eメール: mntraje@mntraje.dgpc.pt ウェブサイト： http://www.museudotraje.gov.pt/;https://artsandculture.google.com/partner/national-museum-of-costume-in-portugal

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; レストラン;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;
入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;
特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア／サービス: 店舗, 身体障害者用設備;
支援スキル: 視覚障害; 利用可能な支援プロダクト／サービス: 運動障害, 精神障害;

国立服飾博物館（Museu Nacional do Traje） 国立服飾博物館は、ルミアール（Lumiar）地区にあるアンジェジャ・パルメラ宮（Palácio Angeja-Palmela）を利用した博物館です。この建物は、18世紀に3代目アンジェジャ侯爵ペドロ・デ・ノローニャがつくったもので、1840年にパルメラ家が購入しました。その後1975年に、国が博物館をつくる目的で、隣接するモンテイロ‐モル公園（Parque do Monteiro-Mor）とともにこの館を購入しました。 設立当初の所蔵品は、国立馬車博物館から移されてきた約7,000点の衣装やアクセサリーでした。これらの所蔵品の一部は、かつて王家が所有していた品々で、フランスの侵略にあい王家がブラジルへと旅立った際にリスボンに残されたものが含まれています。 展示品の中で最も多いのは一般市民の女性用ドレスですが、18世紀のポルトガル帝国の宮廷用ドレスや、衣服の博物館では珍しい男性用の服や子供服もあります。その他にも現代の衣服、タペストリー、宝飾品、おもちゃなどが展示されています。眼の不自由な人向けの小さな常設セクションもあります。 館内には、衣服や装飾品、布地、タペストリー、テキスタイルの歴史や技術に関する専門図書室があり、火曜日から金曜日まで自由に閲覧することができます。 現在この博物館は、建物の工事のために閉館しています。ただし、ミュージアムショップ、仮設展示セクション、モンテイロ・モル公園は、通常の開館時間に利用できます。

滞在した外国人画家の絵画、この博物館の創設者が収集した金銀器の貴重なコレクション（16～19世紀に民間人が使用していたポルトガル製銀器のセットなど）、陶磁器やガラス製品があります。デッサン、版画、装丁本、時計といった、小さいながら価値のある品々もさまざまな部屋に配置されており、実際に人が住んでいるかのような雰囲気を高めています。 ポルトガルにおける装飾芸術の研究や学習を促進し、一流の専門訓練を推進していくために、財団では装飾芸術高等学校（Escola Superior de Artes Decorativas）と美術・工芸研究所（Instituto de Artes e Ofícios）を運営しています。博物館では、木工品、装飾絵画、彫刻、版画、装丁、めっき、アライオロスのじゅうたんなどに関する伝統技能を学ぶ、さまざまなワークショップが開かれています。世界各地で行ってきた数々の仕事の中でも、ヴェルサイユ宮殿にある火事で焼けたデュバリー婦人の図書室の復元は特に大きな成果といえるでしょう。

Oeiras

Museu da Pólvora Negra

住所： Fábrica da Pólvora de BarcarenaEstrada das Fontaínhas2745-615 Barcarena
电话： + 351 210 977 420 / + 351 210 977 422 / + 351 210 977 423 / + 351 210 977 424 ファックス： + 351 210 977 425
Eメール: museudapolvoranegra@oeiras.pt ウェブサイト： https://www.oeiras.pt/museu-da-p%C3%B3lvora-negra

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

Sintra

Castelo dos Mouros - Sintra

住所： Castelo dos Mouros 2710-609 Sintra
电话： +351 21 923 73 00 ファックス： +351 21 923 73 50
Eメール: info@parquesdesintra.pt ウェブサイト： http://www.parquesdesintra.pt

特色とサービス:
ガイドツアー; レストラン; ショップ; カフェテリア;
支払い:
クレジットカード利用可;

NewsMuseum

住所： Rua Visconde de Monserrate, 262710-591 Sintra
电话： +351 210 126 600 / 01
Eメール: info@newsmuseum.pt ウェブサイト： http://www.newsmuseum.pt

時刻表:
4月～9月: 午前9時30分～午後7時
10月～3月: 午前9時30分～午後6時
12月25日に閉店;
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
支払い:
クレジットカード利用可;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;
入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;
特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路:

Convento dos Capuchos - Sintra

住所： Serra de Sintra
电话： +351 21 923 73 00 ファックス： +351 21 923 73 50
Eメール: info@parquesdesintra.pt ウェブサイト： http://www.parquesdesintra.pt

特色とサービス:
ガイドツアー; レストラン; ショップ; カフェテリア;
支払い:
クレジットカード利用可;

Palácio e Parque de Monserrate

住所： Estrada de Monserrate 2710-405 Sintra
电话： +351 21 923 73 00 ファックス： +351 21 923 73 50
Eメール: info@parquesdesintra.pt ウェブサイト： http://www.parquesdesintra.pt

その他の情報:
事前予約をすれば、特別な支援を必要とする方を対象としたガイドツアーをご利用頂けます。

シントラの公園は身体の不自由な方をサポートする設備があり、全ての観光客にとってアクセシブルとなっています。手動式車椅子に取り付けられる Swiss-Trac システムや多様な興味関心を引くスポットに行くことができる電気バスがあります。
特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
支払い:
クレジットカード利用可;

全部; バリアフリーのエリア／サービス: 店舗, バー／カフェ,
身体障害者用設備, 中庭, ホール; バリアフリー情報: 案内板, 凡例,
双方向型・視聴覚資料を用いた発表; 支援スキル: 聴覚障害, 運動障害,
精神障害; 利用可能な支援プロダクト／サービス: 聴覚障害, 運動障害;

NewsMuseumは、最近の歴史のエピソードのメディア報道を呼び出して説明し、訪問者がラジオやテレビと交流できるようにします。それは彼らの仕事で不朽のジャーナリストに敬意を表し、それは業界の主人公を呈し、戦争カバレッジの進展を予測し、私たちを象徴するメディア戦闘を文脈化し、私たちの時代の「悪いニュース」を見る。プロパガンダと広報業界を解き放つ。

インタラクティブなインフォテイメントは非常にモダンで参加型で、教育的な訪問のために準備された小さな講堂があります。ポルトガル語と英語で利用できるこのエクスペリエンスは、合計16時間のビデオやその他の形式でパーソナライズされています。

Palácio Nacional da Pena

住所： Estrada da Pena　2710-609 Sintra

电话： +351 21 923 73 00 ファックス： +351 21 923 73 50

Eメール: info@parquesdesintra.pt ウェブサイト： http://www.parquesdesintra.pt;https://www.parquesdesintra.pt/pt/recursos-digitais/experiencias-digitais/visita-360-ao-palacio-nacional-da-pena/

その他の情報:
ペナ宮の観覧ルートは段差が多いため車椅子の方は入場できません。事前予約をすれば、特別な支援を必要とする方を対象としたガイドツアーをご利用頂けます。

ペナ公園は身体の不自由な方をサポートする様々なな設備があり、アクセシブルとなっています。けん引装置を取り付けられる手動式車椅子や王宮までのルートを網羅しているアクセシブル対応バスなどをご用意しています。

特色とサービス:
ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
支払い:
クレジットカード利用可;
バリアフリー案内:
身体障害者専用駐車スペース; 入口へのバリアフリー経路: 一部;
特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;
バリアフリーのエリア／サービス: 店舗, バー／カフェ, 身体障害者用設備;
支援スキル: 聴覚障害, 運動障害; 利用可能な支援プロダクト／サービス:
視覚障害, 聴覚障害, 運動障害, 精神障害;

ペナ宮（Palácio Nacional da Pena） この魅力あふれる宮殿は、ポルトガルにおける19世紀のロマン主義的な復興様式の建築物の中で、最も優れたものです。 ペナ宮は、ジェロニモス派の古い修道院があった、モンテ・ダ・ペナ（Monte da Pena）の山頂に建てられています。この宮殿は、1836年にマリア2世と結婚したザクセン・コーブルク・ゴータ家のフェルナンド2世の想像力の結晶です。フェルナンド2世はシントラをいたく気に入り、ここに王室用の夏の宮殿をつくるために、修道院とその周辺の土地を購入することを決めたのでした。 王は、さまざまな復興様式に基づく宮殿（ネオ・ゴシック、ネオ・マヌエル、ネオ・イスラム、ネオ・ルネッサンス様式）に、ポルトガル式の建築的・装飾的な特徴を取り入れました。その一方で宮殿の周りには、さまざまな外来の木を植えた壮大な英国風の森林公園をつくりました。 宮殿の内部には、かつてここに住んだ王や王妃の趣味に合わせた装飾が今も残されています。忘れてはならないのが礼拝堂で、ニコラ・シャンテレーヌ（リスボンのジェロニモス修道院を手がけた建築家の一人）の作とされる素晴らしいアラバスターの祭壇飾りを見ることができます。トロンプルイユの技法を使った壁の絵やアズレージョも一見の価値があります。 宮殿の一角にはレストランが設けられており、そのテラスからはシントラ山脈と海岸を見渡す美しい景色が楽しめます。

バリアフリー案内:
身体障害者専用駐車スペース; 入口へのバリアフリー経路: 一部;
バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;
建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリーのエリア／サービス: 店舗,
バー／カフェ, 身体障害者用設備; バリアフリー情報:
触覚的探索用のアイテム; 支援スキル: 聴覚障害, 運動障害;
利用可能な支援プロダクト／サービス: 視覚障害, 聴覚障害, 運動障害,
精神障害;

モンセラーテの館と公園（Palácio e Parque de Monserrate）
この素晴らしいロマン主義の公園は、シントラ山脈（Serra de Sintra）に魅せられたウィリアム・ベックフォードによってつくられました。 モンセラーテの館と公園は、果樹園と牧場のある農場だった場所につくられており、18世紀にメロ・イ・カステロ家からその農場を借りたジェラルド・デヴィズメが最初に構想しました。その後、やはりここに住んだウィリアム・ベックフォードとフランシス・クックにその構想が引き継がれました。しかし、コントラストに富んだこの公園の風景をつくりだしたのは、初代モンセラーテ子爵であるフランシス・クックです。彼は、風景画家のウィリアム・ストックデール、植物学者のウィリアム・ネヴィル、名庭師のジェームズ・バーとともに、遺跡や滝や湖や人の目に触れない木陰の間を曲がりくねった小道が交錯する、この一見無秩序な庭をつくりあげました。 ポルトガルに自生する植物（アービュタス、セイヨウヒイラギ、コルクガシなど）と、世界の5大陸すべてから集められた植物がうまく組み合わされており、オーストラリアやメキシコや日本など世界中のさまざまな草木の間を散歩することができます。ここに植えられている植物は、合計2500種以上におよんでいます。 館の中では、音楽室、インドの間などの豪華な客間、食堂、図書室が特に目を引きます。これらの部屋はみな1階にありますが、宮殿の中をまわるツアーではプライベートな部屋のある2階も見学できます。

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com